



基本領域 放射線科専門研修

連携

- 滋賀医科大学放射線科専門研修プログラム

1. 放射線科の理念・特色

放射線科の役割は超音波検査、X線撮影やCT、MRIおよび核医学検査などを利用する画像診断、画像診断を応用した低侵襲性治療(IVR)、および放射線を使用して種々の疾患の放射線治療を行うことにあります。

近年、各種画像診断の進歩は著しく、CTでは64列以上の多列CTが当然になり、一回の撮像範囲は広く、撮像時間はきわめて短くなされています。撮像された画像を元に再構成し、追加被曝なく任意の断面で患者の状態評価ができるようになってきています。MRIでは3T MRIが登場し、画質の向上、撮像時間の短縮がなされています。IVRでは様々なデバイスが開発され、より簡便に、低侵襲に患者の治療が行われます。

放射線科では、医療機器の進歩に応じて、より患者に適した検査を心がけ、患者の最良な治療を行うことを目標としています。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

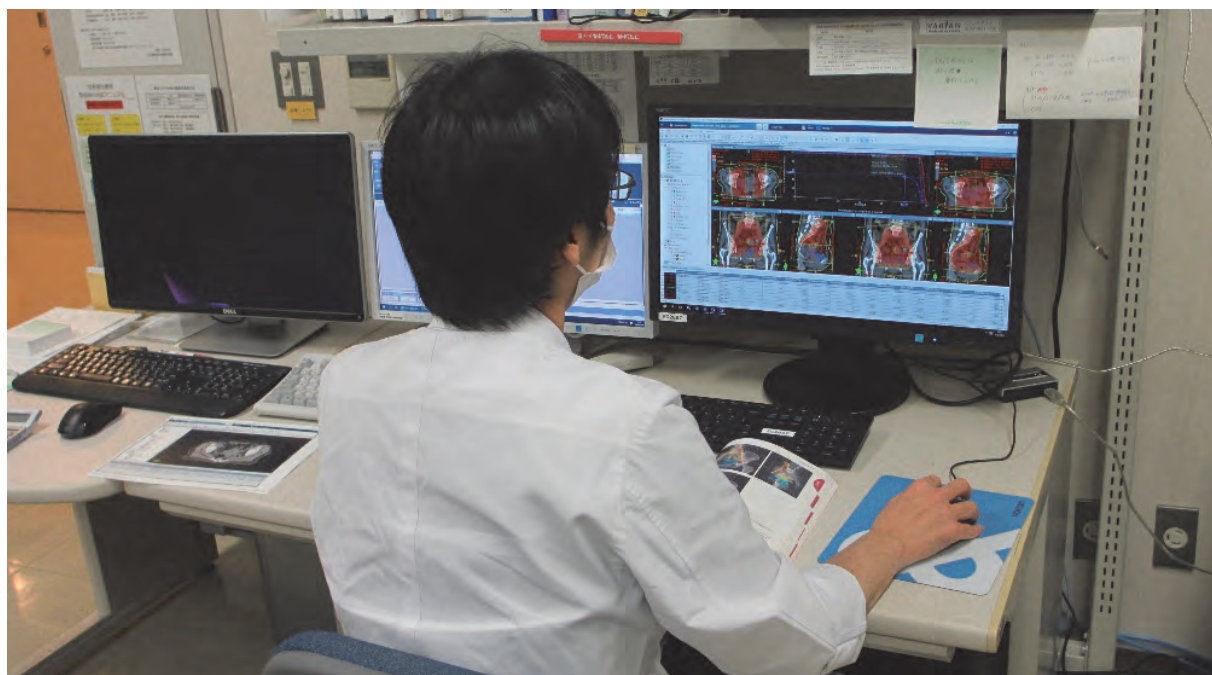
放射線科全般におよぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。

イ. 経験できる診療、技術

放射線治療、消化管透視、血管造影(主にTACE)、CT下生検・ドレナージ、X線診断、CT、MRI、核医学検査

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝						
午前	8:30~9:00 放射線カンファレンス	9:00~11:00 消化管透視(注腸)	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	
	CT・MRI・核医学検査 レポート作成					
午後	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成		16:00~17:00 放射線カンファレンス	血管造影・ IVR見学・介助	
時間外			17:00~18:00 抄読会			



4. 指導医・スタッフ

部長 こやま たかし
小山 敬己

大学卒業年 1993年卒

専門	画像診断全般
認定	日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本専門医機構認定放射線科専門医

部長 まつい かつのり
松井 勝則

大学卒業年 1989年卒

専門	放射線治療
認定	日本医学放射線学会放射線治療専門医

5. 診療設備

CT キャンンメディカルシステムズ Aquilion One Vision EDITION (320列)、Aquilion/64、Aquilion LB

1.5T MRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5

3.0T MRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0

血管造影撮影装置 フィリップスジャパン Allura Clarity FD20/15

放射線治療 バリアン CLINAC 2100C/D



6. 診療実績

● 診断

放射線読影	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
CT 検査	13,639	11,993	11,982	11,729	14,758
MRI 検査	4,171	2,693	2,772	1,946	2,053
消化管透視	171	117	131	125	129
X線撮影	1,859	1,891	1,894	1,772	1,866
核医学	470	433	487	494	701
血管造影(TACE)	23	31	25	30	21

● 放射線治療

原発巣別症例	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
脳・脊髄	7	2	3	5	4
頭頸部	7	3	4	5	2
食道	12	6	8	9	6
肺・気管・縦隔(うち肺)	22(22)	38(38)	36(36)	25(0)	35(34)
乳腺	43	36	28	28	39
肝・胆・膵	4	0	1	6	0
胃・小腸・結腸・直腸	9	4	3	3	8
婦人科	2	5	7	12	12

泌尿器科(うち前立腺)	45(32)	28(18)	25(14)	20(11)	24(13)
造血器リンパ系	3	4	6	3	5
皮膚・骨・軟部	8	2	1	1	0
その他(悪性)	0	0	0	0	0
良性	0	5	4	7	7
15歳以下の小児	0	0	0	0	0

骨転移 27 件

脳転移 11 件

新患/新患+再患者 135/142 人

7. 学会認定施設

日本医学放射線学会・放射線科専門医修練機関